

相互提案協働事業 報告書

平成 27 年 4 月 20 日

(宛先) 鎌倉市長

住所
 郵便番号
 団体名 湘南・省エネネットワーク
 代表者氏名 前島 仁

平成 26 年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	家庭における省エネルギーへの取り組みを促進する事業
事業概要	<p>家庭における省エネルギーへの取り組みの促進について、市と市民活動団体との協働事業の案件として具体的には以下の方策で実施した。</p> <p>① 市民から参加者を市の広報などで広く呼びかけ、参加者への説明会を開催した。講師を招いて講演と省エネ技術の説明を受けた。</p> <p>② 参加者は自宅で省エネルギーに取り組み、その内容を節電シートへ記入して提出した。その市民団体が節電シートの内容を集計して、取組み実績と内容を評価した。</p> <p>③ 参加者への報告会を開催し、参加者から報告を受け、今後に向けた助言等を参加者に対して実施した。</p>
市担当課	環境部 環境政策課
事業実施期間 (継続中の事業については、継続に○をつける)	<p>開始 平成 26 年 5 月 23 日 ~ 継続</p> <p>終了 平成 27 年 3 月 31 日</p>
協働の形態	市民活動団体提案事業
事業費	54,400 円

鎌倉市役所
 平成 27.4.20 受付
 第 58 号

<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p><達成できた点></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 当初の事業計画を遅滞なく、計画された日程通りに実施出来た。 ② 参加された市民が自宅の省エネルギーを真摯に取り組まれた。 ③ 市と市民活動団体との良好な連携で円滑に事業を実施できた。 ④ 参加者は自宅の省エネルギーでの成果を参加者の間で共有できた。 ⑤ 省エネルギー実践講座として説明会および報告会を2回開催した。 ⑥ 市民団体から参加者へ質疑応答、取組み実績を評価の上、助言した。
	<p><達成できなかった点></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 当初の想定(50名)よりも市民の参加者が少なく25名であった。 ② 一部の参加者に省エネルギーの取り組む上で困難な状況が発生した為に、当初の省エネルギー目標を達成できなかった。 ③ 当初予定していた学校への出前講座などを実施出来なかった。
<p>成果・効果</p>	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市と市民活動団体との良好な連携で当初の事業計画を遅滞なく、円滑に計画された日程通りに実施出来た。 ② 参加された市民が自宅の省エネルギーを真摯に取り組まれた成果を報告会において参加者間で共有出来た。 ③ 家庭で省エネルギーに取り組む際の困難な課題が明確になり、今後の課題解決への道筋が明らかになってきた。 <p><効果></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 省エネルギーの模範的なベストプラクティス事例として、今回の取り組みが他の市民へ波及すれば効果が更に増大できる。 ② 本協働事業によって、省エネルギー対策への施策面で活用でき、鎌倉市の温室効果ガス排出量の削減および目標の達成に寄与する。 ③ 協働事業では市民団体が保有する専門技術の知見を提供するなどボランティア活動でのマンパワーを活用でき、経済的な実施効果が高い。 <p>これらの市と市民活動団体による有効な協働により、事業面でも重複が回避され、経済的かつ人的な面でも効率的な運用が期待できる。 また、本事業での具体的な成果や効果が、協働により市と市民活動団体とがそれぞれの特性を活かすことで今後は更に相乗効果を期待できる。</p>
<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 市民から更に多くの参加を得て効果を更に拡大させるには、更に本事業を継続的に発展していく必要がある。 ② 一部の参加者に省エネルギーに取り組む上で困難な状況が発生した為に、当初の省エネルギー目標を達成できなかったが、今後の省エネルギー施策を進める上で留意して進めるための参考に供する。
<p>今後の展望</p>	<p>家庭におけるエネルギーの推進というテーマに協働事業として取り組んだ結果、効果的な手法等を市民と共有することができた。今後も協力関係を保ちながら、双方、効果的な省エネルギー事業を実施していきたいと考えている。</p>

[添付資料]

協働事業収支決算書

事業活動実施報告書

[添付資料] 協働事業収支決算書

平成 27 年 4 月 20 日

事業名 : 家庭における省エネルギーへの取り組みを促進する事業

担当課名 : 環境政策課

市民活動団体名 : 湘南・省エネネットワーク

科 目	金 額 (円)	備 考
I 収入の部		
1. 市からの収入	54,400	市からの収入による協働事業市負担金
収入合計 (A)	54,400	
II 支出の部		
1. 労務費	0	人件費 (臨時雇用員費)
2. 旅費	0	交通費 (市内移動交通費)
3. 経費		
(1) 通信費	6,724	郵便切手代 (中間報告資料、報告会開催案内、報告会資料、節電シートの送付、@82 円/枚×82 枚)
(2) 印刷費	13,280	印刷代 (開催案内パンフレット、説明会・報告会配布資料、報告資料のコピー等、紙代を含む、約 2,800 頁)
(3) 消耗品費	4,396	封筒代 (中間報告資料、報告会開催案内、報告会資料、節電シートの送付、長形 3 号 100 枚入)、用紙・文具代
(4) 謝金	30,000	謝金 (説明会の講師 : 1 名、報告会の発表者 : 4 名)
支出合計 (B)	54,400	
収支差額 (A) - (B)	0	

[添付資料] 事業活動実施報告書

事業名 : 家庭における省エネルギーへの取り組みを促進する事業

担当課名 : 環境政策課

市民活動団体名 : 湘南・省エネネットワーク

家庭における省エネルギーへの取り組みの促進について、市と市民活動団体との協働事業の案件として具体的には以下の方策で実施した。

1. 説明会の開催

(1) 参加者募集

市民から参加者を市の広報およびパンフレットの配布などで広く呼びかけた。

<参照資料①> 説明会の開催案内パンフレット

(2) 説明会の開催

日時:平成 26 年 6 月 14 日(土)9:30~11:30 於 鎌倉生涯学習センター 第5集会室など

市民参加者:合計25名

内容:講師を招いて講演と省エネ技術の説明を受けた。

また、省エネへの取り組みと節電シートの記入要領を説明した。

進行内容
<p>1. 講演 家庭の省エネルギーの進め方 「この夏から始めたい スマートな暮らしで省エネを」</p> <p>講師:一般財団法人 省エネルギーセンター 家庭・地域事業部 課長代理 楠本 善隆(くすもと よしたか)氏</p> <p>[概要] 地球温暖化と私たち、家庭での電気の使われ方、家庭の節電のポイント、エネルギーを上手に暮らしに活かそうについて、特に省エネを進める上でのポイントや留意点について話された。</p>
<p>2. 省エネ照明の説明 「わが家の照明、LED 交換作戦」</p> <p>講師:三菱電機照明株式会社 営業本部 業務企画部 業務課 主幹 山内 崇弘(やまうち たかひろ)氏</p> <p>[概要] 簡単に交換できて省エネになる LED ランプと照明器具を紹介した。特に既存の白熱電球および蛍光灯などとの明るさ・性能、耐久寿命および価格・費用面での優位性を対比して説明した。尚、説明の際に白熱電球、蛍光灯と LED 電球の比較:実機でのデモを行った。また、三菱電機照明から省エネ促進協働事業の記念品として提供された LED 電球(60W 相当電球色ランプ)とランプ交換、使用上の注意などについても説明した。</p>
<p>3. 協働事業内容および参加者への実施要領の説明:前島</p> <p>具体的に節電シートへの記入例を交えて、提出要領などを説明した。</p>

<参照資料②> 説明会の光景写真

2. 節電シートの集計・評価

参加者は自宅で省エネルギーに取り組み、その内容を節電シートへ記入して提出した。
市民団体が節電シートの内容を集計して、取組み実績と内容を評価した。

(1) 取組み実績

省エネチャレンジに参加された方からの報告内容を集計・評価した結果を報告した。
「節電シート」の集計結果および節電実績・実施内容などの評価結果について総括的に報告した。

[夏季の省エネ]

報告者 : 21名

集計対象 : 19名 (但し、1年前の電気使用量が記載されていない方 : 2名を除く)

集計結果 : 7月と8月分の省エネ量の合計は、1年前と比較して**388kWhの省エネ**になった。

1年前に比べて**平均3.3%の電気使用量を削減**して省エネを実現したことになる。

中には、28%削減した方もあり、参加者の全員が熱心に取り組まれた。

尚、19名中6名が残念ながら1年前と比べて電気使用量が増えてしまった。

	電気使用量 (7月と8月分の合計)
① 1年前の電気使用量の合計	11,861 kWh
② 今年の電気使用量の合計	11,473 kWh
③ =①-② 省エネ量の合計	388 kWh

[冬季の省エネ]

報告者 : 17名

集計対象 : 16名 (但し、1年前の電気使用量が記載されていない方 : 1名を除く)

集計結果 : 12月と1月分の省エネ量の合計は、1年前と比較して**940kWhの増エネ**になった。

1年前に比べて**平均8.3%の電気使用量が増加**して増エネになったことになる。

中には、21%削減した方もあり、参加者の全員が熱心に取り組まれた。

尚、16名中10名が残念ながら1年前と比べて電気使用量が増えてしまった。

	電気使用量 (12月と1月分の合計)
① 1年前の電気使用量の合計	11,431 kWh
② 今年の電気使用量の合計	12,371 kWh
③ =①-② 省エネ量の合計	-940 kWh

[コメント]

年間を通しての電気使用量は以下の増加要因で省エネ・節電を困難にした模様です。

- ・ 在宅が多くなり、居住環境が変化したため、暖房器具を使用する時間が長くなった。 : 2名
- ・ 今年の冬は特に寒く、家にいることが多いので、エアコンや暖房時間が増えた。 : 2名
- ・ 石油ストーブ、ガスから電気ストーブ、エアコンに変えた為、電気使用量が増加した。 : 2名
- ・ 夜間の防犯カメラを設置した。

[参考] 省エネ上手な家庭は、夏季230~280KWh/月、冬季250~350KWh/月。

(2) 取組み内容

夏と冬の間、新たに取組みされた省エネ・節電の主な内容を紹介する。

空調 エアコンを極力使用しない。：5名

(夏) 扇風機・冷風扇を多用した。エアコン使用時に扇風機を併用した。

窓を開け放して空気の流れを良くした。

エアコンの設定温度を28℃に変更した。

(冬) エアコン暖房の時間を短縮した。 空調不使用。

寝室の暖房器具(電気ヒーター)を使わなかった。室温は10℃もないが、寝る時は湯たんぽがあるので快適で、その部屋で過ごす時は厚着をした。

照明 照明をLEDに取り換えた。：6名(よく使用する蛍光灯や白熱電球をLEDに)

照明のリモコンは使用しなかった。照明スイッチをオフに励行した。

照明の一部を使用しなかった。(風呂場は洗面所の照明で十分に明るい為)

園芸用ソーラーライトを階段の常夜灯として使用した。

廃油を使ってキャンドルのようにして、階段の照明としてたまに使った。

製品 2001年に購入したエアコン1台を最新型のエアコンに置き換えた。

電気洗濯機を買い替えた。(20年使用した)

カーペットや敷布の暖房へ切替えた。

調理 炊飯器の保温時間を減らした。冷蔵庫で保存して、食べる時にレンジで温めるようにした。

遮熱 遮熱性の高い塗料で壁を塗り替えて冷房費を削減した。

二重窓を採用した。

日光 日当たりがよいので日中は日光がよく入るようにカーテンを全開にした。

余熱で夜間もしばらくは暖房を使わなくてすむので省エネになった。

断熱 電気カーペット、電気こたつの下にアルミホイルで熱を逃がさない保温シートを敷いている。

電源 電気コンセントから電気器具のプラグを抜いておくようにした。：2名

こまめにスイッチを切るようにした。(照明など)

IH ジャー炊飯器に買い変えたので炊飯後にはすぐスイッチを切り、保温しない様になっている。

テーブル電源タップを使用した。(3個)

その他 家族の省エネ意識付けとして「省エネ行動実施状況表」を掲示した。

テレビを極力見ないようにした。(必要最小限度にする)

3. 報告会の開催

参加者への報告会を開催し、参加者から報告を受け、今後に向けた助言等を参加者に対して実施した。

(1) 参加者募集

市民から参加者を市からパンフレットの配布などで広く呼びかけた。

<参照資料③> 報告会の開催案内パンフレット

(2) 報告会の開催

平成 27 年 3 月 14 日(土)10:00~11:30 於 鎌倉生涯学習センター 第5集会室

参加者:合計15名

内容:省エネチャレンジに参加された方からの報告内容を集計・評価した結果を報告した。

進行内容
1. 省エネチャレンジ実施報告総括 省エネチャレンジに参加された方からの報告内容を集計・評価した結果を報告した。 「節電シート」の集計結果および節電実績・実施内容などの評価結果について総括的に報告した。
2. 省エネチャレンジの取り組み紹介 工夫されて節電を実践された方や模範的な取り組みをされた方から代表者4名が節電実績・実施内容などについて紹介された。(各自説明:5分間 + 質疑応答:5分間)×代表者4名=合計 40 分間
3. 協働事業および省エネチャレンジ全般に関する質疑応答・意見交換 省エネルギーの専門家から「省エネチャレンジ」夏季および冬季の省エネで報告された節電に取り組まれた方へアドバイス、コメントなどをした。

<参照資料④> 報告会の光景写真

工夫されて節電を実践された方や模範的な取り組みをされた方から代表者4名が実施内容が紹介された。

[代表者①]

(夏) 築50年の古家で、エアコンの効果もなかなか行き渡らず、照明をLEDに取り替えた。

(冬) 寒さ対策が大変だが、照明をLEDにしたことでわずかながら削減できたのでこれからの工夫と考えている。

[代表者②]

(夏) 炊飯器の保温時間を減らし、冷蔵庫で保存。食べる時にレンジで温めるようにした。LED 照明に変えた。

(冬) エアコン暖房・床暖房の時間を短くし、カーペットや敷布の暖房に切换えた。

[代表者③]

(夏) 消費電力の大半は照明とエコワットを使って実感した。20年使った洗濯機を買い替えた。

(冬) 室温は10度もないが、寝る時は湯たんぽがあり快適で、その部屋で過ごす時は厚着をした。

[代表者④]

(夏) 家中のコンセント外し、エアコンを極力使用しなかった。照明SWをOFFを励行。

(冬) 使用後不要コンセント外し。空調不使用。コンピューター等、一部ON・OFFが可能な限りOFFとした。

市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート

(平成 26 年度)

事業名 : 家庭における省エネルギーへの取り組みを促進する事業

担当課名 : 環境政策課

市民活動団体名 : 湘南・省エネネットワーク

評価項目		役割担当		理 由	
		市民活動 団体	行政担当 課		
1	事業着手前	事業の協定書作成に当たり十分な話し合いができたか	○	○	数回にわたる話し合いで、協定書を作成することが出来た。
2		事業の協定書作成に当たり対等な立場で話し合いができたか	○	○	互いの立場を尊重して、役割分担など真摯な話し合いができた。
3		事業の協定書の内容は充分であったか	○	○	役割分担など具体的に記述した。
4	事業実施過程	事業は当初の事業計画どおりに行われたか	○	○	当初の事業計画どおりに概ね遂行した。
5		事業は対等な立場で進められたか	○	△	団体：役割分担などで明確にされた。 市：自立した市民団体として、事業遂行への責任感が薄いと感じられた。
6		事業は互いの特性や資源を活かしあいながら進められたか	○	×	団体：互いの特性や資源を認め合いながら進められた。 市：自立した市民団体として、事業遂行への責任感が薄いと感じられた。
7		事業は課題認識、目的、プロセスを共有し協力して進められたか	○	○	課題認識、目的、プロセスをいずれも共有し協力して進められた。
8		課題が出た時、話し合いの場が持て解決できたか	○	○	課題が出た時、迅速に連絡を取り合って、速やかに解決できた。
9	事業実施結果	設定された目標（評価項目）は達成されたか	△	△	設定された目標(評価項目)は提案した内容の一部が未達成だった。
10		予算の執行は予定通りであったか	○	○	公正に予定通り予算執行された。
11		定められた役割分担は妥当であったか	○	○	役割分担は所定通り妥当だった。
12		定められた役割分担は守られたか	○	△	役割分担は的確に守られた。
13		市民サービスは向上したか	○	△	市民サービスは一層向上した。
14		市民と行政の協働事業は効果があったか	○	×	団体：協働事業の有効性が相互補完および相乗効果が顕著に認めら

					れた。 市：協働の形をとらずとも、市民活動団体が、独自の事業として出来る内容だった。
1 5	今後の事業展望	事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点も含めた総括 (相互協議のまとめ)			家庭における省エネルギーの推進というテーマに協働事業として取り組んだ結果、効果的な手法等を市民と共有することができた。双方、効果的な省エネルギー事業を実施していきたいと考えている。

各々の評価は 達成：○（10ポイント） まあまあ：△（5ポイント） 不達：×（1ポイント）

備考：理由欄は、別紙で提出しても結構です。

鎌倉市 地域のつながり推進課 地域のつながり推進担当
電話 23-3000 内線 2582